

肝胆膵高難度手術における地域連携診療について

―術前から術後まで、地域と大学病院が連携して支えます―

群馬大学医学部附属病院 肝胆膵外科では、地域の医療機関と密接に連携し、患者さんに安心して高度専門医療を受けていただける体制を整えています。

肝胆膵高難度手術は、日本肝胆膵外科学会が定める高度技能専門医制度のもとで安全性向上が図られている専門性の高い手術です。大学病院で専門的に実施させていただき、術前検査、術前・術後の薬物療法、術後の定期診療については、お住まいに近い地域医療機関と役割分担を行っています。これにより、通院負担を軽減しつつ、大学病院の専門性を活かした継続的な診療を提供しています。

地域連携による診療体制

1. 術前診療について

術前検査と、術前・術後治療（抗がん剤などの薬物療法）は、地域の連携医療機関と協力しながら進めさせていただきます。治療方針については、地域の主治医の先生方とも十分に情報共有・協議を行い、患者さんにとって最適な治療計画を検討しています。

2. 手術治療について

高度な専門技術を要する肝胆膵手術は、群馬大学医学部附属病院において、専門チームが責任をもって担当します。全ての患者さんにおいて多職種による検討を行い、手術の適応を検討しています。また病態や進行度に応じて薬物療法や、重粒子線治療を含む放射線治療と組み合わせること（集学的治療）を検討しています。安全性と根治性の両立を重視し、患者さんごとに最適な治療方針を検討しています。

3. 術後フォローアップについて

術後の定期診察や投薬管理、画像検査などは、患者さんのご負担を考慮し、地域医療機関と連携して実施します。可能な限り、当院肝胆膵外科の医師が地域医療機関で外来診療を行う体制をとっております。そのため多くの場合、手術を担当した医師が各医療機関で診察を継続いたします。また、術後に専門的対応が必要となった場合には、速やかに大学病院で診療を受けていただける体制を整えています。

4. 地域でも専門性の高い診療を

当科では、県内各地域の基幹病院への医師派遣や継続的な診療支援を行っています。地域医療機関との連携を通じて、大学病院と連携した専門的医療を地域でも受けいただけるよう努めています。

*術前診療や術後のフォローアップについては病状説明の際に具体的に説明をいたします。

通院についてご不安のある方へ

「大学病院まで距離がある」「継続して通院できるか不安」そのようなご心配をお持ちの方にも、安心して治療を受けていただけるよう、地域医療機関と協力しながら診療体制を構築しています。患者さん一人おひとりの生活環境やご事情に配慮し、通院回数や受診スケジュールについても柔軟に対応いたします。

まずは担当医にお気軽にご相談ください。専門性の高い医療を、できる限り負担の少ない形で受けいただけるようお手伝いいたします。